



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs グリーンローンプロジェクト

「ガス拡散層一体型セパレータ」
研究開発及び製造ラインの確立に向けた取組みの進捗報告

2020年9月30日
株式会社エノモト

2019年度成果トピックス

ロードマップにより進捗管理し、1項目に遅れが発生しているが来年度までの継続目標以外は達成。遅れ項目に関しては次年度挽回予定（☆：継続やや先行、○：継続順調）

★	目標達成
☆	目標達成までもう一步
○	目標達成見込み
□	推進中なるもやや遅れ気味
■	活動停滞
×	目標達成は無理

	全メトリック数	★	☆	○	□	■	×
達成項目 (3月末)	27	17	2	7	0	0	1

<p>① 発電評価結果</p>	<p>年度目標の最大電流密度 3.7A/cm²を達成 (2019年度キーメトリック)</p>	<p>製造条件適正化</p> 
<p>② 流路付きガス拡散層製造技術確立</p>	<p>コア製造技術を採用した 自動化装置の導入 (2019年度キーメトリック)</p>	<p>自動化装置製造</p> 
<p>③ 顧客関係</p>	<p>①研究委託業務開始(FCV1社) ②NDA締結企業数 7社獲得</p>	
<p>④ 知財関係</p>	<p>特許2件出願</p>	<p>特願2019-171644 特願2020-029063</p>

2020年度メトリック

2019年度の研究開発では

- ①製造コア技術を確立し量産設備の製作/配備を開始した。
- ②NDA締結企業は7社まで増加、内共同評価は4社。
- ③関連特許の出願件数は2件。

2020年度キーメトリック

2019年度に導入した**自動化装置**を使用し**製品**を作製する。品質は単品製造装置で作製したものと比較し同等以上を確立する。その後、品質を維持したまま製造能力の向上を図る。その製品の採用契約に向けた活動強化として、共同評価先目標数を現在の4社から**6社**へ拡大する。

- ①**自動化装置での品質確立**。（単品製造装置と同等以上の特性）
- ②共同評価累計**6社**獲得。

ゴールメトリックの変更

事業化に向けた目標の設定として『**コスト削減、品質向上に向けた自動化ラインを完成する**。』を新規追加。生産タクト、コストは既に目標値として設定済み。

グリーンローン調達資金の充当状況

① 調達資金の総額	500,000,000円
② 2019年度開発費用	103,862,040円
③ 2019年度開発設備投資額	28,638,600円
④ 2019年度充当額 (②+③)	132,500,640円
⑤ 未充当金額 (①-④)	367,499,360円

今後の資金充当の見通し

開発費用については概ね2019年度同等で推移し、開発設備投資額は文部科学省の補助金の充当対象や山梨大学等との共有設備の使用等も多くあることから、当社単独による設備投資は減少する見込みです。

以上の状況より、調達資金の全額充当は2023年度となる見通しです。